

聖書 (書名)	章・節：聖句 (関連：神は・・・造られた)	(新共同訳)
創世記	01:01	初めに、神は天地を創造された。→バーラー：無から全く新しいものを作る ※創世紀元 (ユダヤ紀元)：BC3761年10月7日 (西暦換算) →AD2018年 = ユダヤ歴5778年 (西暦+3760年)
創世記	01:07	神は大空を造り、大空の下と大空の上に水を分けさせられた。そのようになった。 ※地を覆っていた水は、第2日目に大空の上と下に分けられた。大空の上にある水支える大空は堅固なものとされ、神が天の窓や扉を開くとき、雨などが落ちてくるとされた (創7：11等)。
創世記	01:16	神は二つの大きな光る物と星を造り、大きな方 (→太陽) に昼を治めさせ、小さな方 (→月) に夜を治めさせられた。
創世記	01:21	神は水に群がるもの、すなわち大きな怪物 (カナン神話に登場する怪物レビヤタンもしくはラハブ)、うごめく生き物をそれぞれに、また、翼ある鳥をそれぞれに創造された。神はこれを見て、良しとされた。→巨大怪物でさえ神の良き創造の一部とされた。
創世記	01:25	神はそれぞれの地の獣、それぞれの家畜、それぞれの土を這うものを造られた。神はこれを見て、良しとされた。
創世記	01:26	神は言われた。「我々 (→神と神の御座を構成する天的存在) にかたどり、我々に似せて、人 (man) を造ろう。そして海の魚、空の鳥、家畜、地の獣、地を這うものすべてを支配させよう。」
創世記	01:27	神は御自分にかたどって人 (man) を創造された。神にかたどって創造された。男 (male) と女 (female) に創造された。
創世記	01:31	神はお造りになったすべてのものを御覧になった。見よ、それは極めて良かった。夕べがあり、朝があった。第六の日である。
創世記	02:03	この日に神はすべての創造の仕事を離れ、安息 (→シャバット [ヘブライ語]、サバス) なさったので、第七の日を神は祝福し、聖別された。
創世記	02:18	主なる神は言われた。「人 (the man) が独りでいるのは良くない。彼に合う助ける者を造ろう。」 ※女 (イシャー [ヘブライ語]) は男 (イシャー [ヘブライ語]) のあばら骨から造られ、土からではない。
創世記	03:01	主なる神が造られた野の生き物のうちで、最も賢いのは蛇 (→サタン in エデンの園) であった。蛇は女に言った。「園のどの木からも食べてはいけない、などと神は言われたのか。」 ※古代世界では、大半の蛇 (神の良き被造物) は毒があるとされ、崇拝、恐れられた。
創世記	05:01 05:02	これはアダムの系図の書である。神は人を創造された日、神に似せてこれを造られ、男と女に創造された。創造の日に、彼らを祝福されて、人と名付けられた (第6の日)。
ヨブ記	09:09	神は北斗 (the Bear [天文] おおぐま座 = 北斗七星) やオリオンをノすばるや、南の星座を造られた。
コレヘトの言葉	03:11	神はすべてを時宜にかなうように造り、また、永遠を思う心を人に与えられる。それでもなお、神のなさる業を始めから終りまで見極めることは許されていない。 ※人間の知識には限界があり、神の技を完全に理解し、見極めることはできない。
コレヘトの言葉	07:14	順境には楽しみ、逆境にはこう考えよ / 人が未来について無知であるようにと / 神はこの両者を併せ造られた、と。

聖書（書名）	章・節：聖句（関連：神は・・・造られた） (新共同訳)
コレヘトの言葉	07:29 ただし見よ、見いだしたことがある。神は人間をまっすぐに造られたが／人間は複雑な考え方をしたが、ということ。 ※人は複雑に考えれば考えるほど、人に対する信頼は薄れ、不安になる(人の考えには限界がある)。
イザヤ書	42:05 主である神はこう言われる。神は天を創造して、これを広げ／地とそこに生ずるものを繰り広げ／その上に住む人々に息を与え／そこを歩く者に霊を与えられる。
イザヤ書	43:10 わたしの証人はあなたたち／わたしが選んだわたしの僕(→イスラエルの民全体)だ、と主は言われる。あなたたちはわたしを知り、信じ／理解するであろう／わたしこそ主、わたしの前に神は造られず／わたしの後にも存在しないことを。
エレミヤ書	10:16 ヤコブの分(一部→the Portion of Jacob)である神はこのような方ではない。万物の創造者であり／イスラエルはその方の嗣業の民である。その御名は万軍の主(→イスラエルの神の別名：ヤハウエ・ツェバオート[ヘブライ語])。
エレミヤ書	51:19 ヤコブの分である神はこのような方ではない。万物の創造者であり／ヤコブはその方の嗣業の民である。その御名は万軍の主。 ※全能の神はヤコブ(イスラエル=永久に神のものとされる)を選んだ個人的な神でもある。
アモス書	04:13 見よ、神(→エロヒーム[ヘブライ語])は山々を造り／風を創造し／その計画を人に告げ／暗闇を変えて曙とし／地の聖なる高台を踏み越えられる。その御名は万軍の神なる主。
マタイによる福音書	03:09 『我々の父はアブラハムだ』などと思ってもみるな。言うておくが、神はこんな石からでも、アブラハムの子たちを造り出すことができになる。→警告(特権的な生き方ができると考えるな) ※洗礼者ヨハネはユダヤ人にアブラハムの子孫というだけで特権的な生き方はするなと警告した。
マルコによる福音書	10:06 しかし、天地創造の初めから、神は人を男と女とにお造りになった。 →But at the beginning of creation God made them male and female.
ルカによる福音書	03:08 悔い改めにふさわしい実を結べ。『我々の父はアブラハムだ』などという考えを起こすな。言うておくが、神はこんな石ころからでも、アブラハムの子たちを造り出すことができになる。
ルカによる福音書	11:40 愚かな者たち、外側を造られた神は、内側もお造りになったではないか。 →もしくは、「外側を洗う人はいつも内側も洗うではないか」とも読める。
使徒言行録	17:24 世界とその中の万物とを造られた神が、その方です。この神は天地の主ですから、手で造った神殿などにはお住みになりません。
使徒言行録	17:26 神は、一人の人からすべての民族を造り出して、地上の至るところに住ませ、季節を決め、彼らの居住地の境界をお決めになりました。
エフェソの信徒への手紙	01:04 天地創造の前に、神はわたしたちを愛して、御自分の前で聖なる者、汚れのない者にしようと、キリストにおいてお選びになりました。 ※キリストは最初から神と共にある言(ことば)で、神が万物を創造するの助けた(ヨハネ1:1~3)。
テトスへの手紙	03:05 神は、わたしたちが行った義の業によってではなく、御自分の憐れみによって、わたしたちを救って下さいました。この救いは、聖霊によって新しく生まれさせ、新たに造りかえる洗い(→洗礼)を通して実現したのです。
ヘブライ人への手紙	01:02 この終わりの時代(→イエス・キリストの到来によって始まった時代)には、御子によってわたしたちに語られました。神は、この御子を万物の相続者と定め、また、御子によって世界を創造されました。